#### 吹田市学事・援助金システムの標準化に関する情報提供依頼(RFI)

令和3年9月に施行された「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、吹田市(以下「本市」という。)では、国の定める標準仕様に準拠したシステム(以下「標準準拠システム」という。)へ移行するための方針となるシステム等標準化方針(案)を定めたところです。

本市では、自治体情報システムの標準化・共通化(以下「システム等標準化」という。)を国の施策として受け身で捉えるのではなく、業務を抜本的に見直すことのできる好機と位置付けています。業務の抜本的な見直しは、標準準拠システムへの移行だけで成し得るものではなく、AI・RPAといった先端技術、表計算ソフトやデータベースソフトといった従前からある技術等の活用や、事務委託による業務の外部化なども合わせて成立させていきます。

本情報提供依頼では、前述の業務の抜本的な見直しを前提としたシステム等標準化に向けて、事業者様の標準準拠システム等の本市への提供可否や概算費用及び御提案の条件やスケジュール等についての事業者様の動向を把握することを目的としています。いただいた情報をもとに、実現性や方向性をはじめとするシステム移行を検討するための参考とします。

事業者様のシステム等標準化に対する開発方針及び本市への提案可否について率直な御意見をいただければ幸いです。

#### 1 情報提供依頼の概要

貴社が提供する学事・援助金システムについて、以下の点で回答をお願いします。なお、提案可否を検討するに当たっては、「5 現行システムについて」及び「6 システム開発上の要件」を前提としてください。ただし、「6 システム開発上の要件」は案の段階です。従って、要件を満たすことができず提案できないという場合には、提案は「可」としていただいた上で、対応できない要件について、「【様式1】情報提供表」の「6 その他提案事項」に御記載ください。

また、学事・援助金システムで提案が可能である場合で、ガバメントクラウド上に構築できる場合には、ガバメントクラウド運用管理補助者についても提案可否を御回答ください。

(1) 本市への提案可否、提案可能な場合の提供可能時期

(以下、提案可能かつ情報提供可能な場合)

- (2) 導入実績(政令市、中核市における学事・援助金システムの開発・保守)
- (3) 想定される構築スケジュール
- (4) 概算費用
- (5) その他提案事項
- 2 情報提供依頼の範囲

学事・援助金システムの範囲は以下の通りです。

<標準準拠システム>

- ・就学事務システム(学齢簿編製等)標準仕様書【第 2.1 版】
- ・就学事務システム (就学援助) 標準仕様書【第 2.1 版】

<標準準拠対象外システム>

- ・高等学校等学習支援金システム
  - →本市が実施する「吹田市高等学校等学習支援金支給制度」の管理をするためのシステムで す。制度の概要については、以下を参照ください。

https://www.city.suita.osaka.jp/kosodate/1018281/1022812/1003387.html

- ・特別支援境域就学奨励費システム
  - →本市が実施する「小学校・中学校特別支援教育就学奨励費制度」の管理をするためのシステムです。制度の概要については、以下を参照ください。

https://www.city.suita.osaka.jp/kosodate/1018281/1018293/1003427.html

%1 現行システムにおける標準準拠対象外システムの構成は、後述の「5(5)システム連携」を参照ください。

※2 標準準拠対象外システムは、就学援助システムの機能をベースに対象者・支給管理を実現することを想定しています。また、多くのシステム事業者様が扱う奨学金管理システムなどの支給機能が実装されたシステムでの対応も可能と想定しています。

#### 3 情報提供方法

本文と同様に掲載している様式にて、貴社から情報提供をいただきたい事項を示しております。 様式に沿って御回答をお願いいたします。なお、本市様式での回答が困難であり、貴社様式での提 出としたい場合、本市に御相談ください。提出方法・期限などを含め詳細は以下の通りです。

#### (1) 記入様式

- ア「【様式1】情報提供表」に情報提供の内容を記入してください。
- イ 「【様式1】情報提供表」にて、回答記入欄が不足する場合や記入しきれない場合、貴社 様式で記入した資料を追加していただいてかまいません。また、御提案の条件やスケジ ュール等について御意見などがありましたら、提出をお願いします。

#### (2) 提出方法

- ア 本資料末尾の「提出・問い合わせ先」に記載してあるメールアドレス宛に、【様式1】を 添付し送付してください。貴社提供のシステム概要や一般的に想定される費用がわかる資 料等、参考に御提供いただけるものは適宜追加してください。
- イ 電子メールの件名は「【提出】標準化情報提供依頼(貴社名)」としてください。
- (3)提出期限

【様式1】の提出は令和5年9月15日(金)午後5時30分までにお願いします。

#### 4 質問の受付

(1) 記入様式

「【様式2】質問表」の御質問内容欄に記入してください。

(2) 提出方法

- ア 記入した「【様式 2 】質問表」の Excel 形式ファイルを添付し、本資料末尾の「提出・問い合わせ先」のメールアドレス宛に送付してください。
- イ 電子メールの件名は「【質問】標準化情報提供依頼(貴社名)」としてください。
- (3)提出期限

【様式2】の提出は令和5年9月4日(月)午後5時30分までにお願いします。

- (4) 質問に対する回答
- ア 質問表のメールアドレス(回答の送付先)に記入していただいた宛先に回答します。
- イ 回答日は令和5年9月7日(木)を予定しています。
- 5 現行システムについて
  - (1) 現行システム

株式会社日本ビジネスデータープロセシングセンター製 学齢簿・援助金管理システム

(2) 人口

令和 5 年 6 月末現在 382,154 人 (中核市)

(3) ユーザー数

9人

- (4)端末数および設置場所
- ア 業務端末数

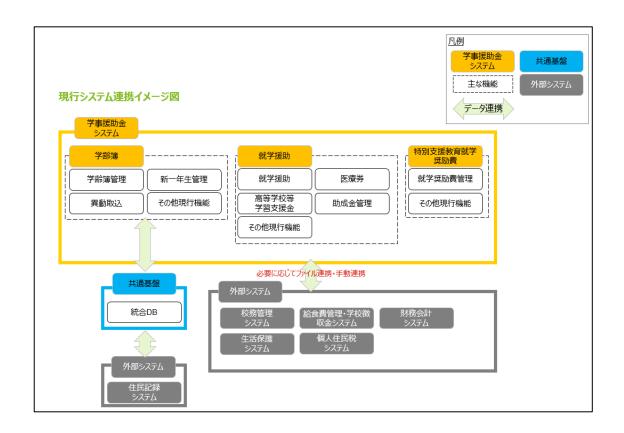
9台

イ 設置場所

学務課執務室(吹田さんくす3番館4階)、本庁舎

(5)システム連携

学事・援助金システムについて連携先システムを含めた概要は以下のとおりです。



# 6 システム開発上の要件

#### (1)標準準拠

地方公共団体情報システム標準化基本方針や各種標準仕様書など国の定める標準化関連指針全てに準拠することを求めます。従って、開発途中でも、国の動向に合わせ仕様変更等に柔軟に対応することを求めます。システムの標準化適合性確認については、地方公共団体情報システム標準化基本方針にて「共通的標準化基準の適合性確認」に定められた通りとなりますが、国の動向などを見据え、検収時点での基準に沿って適合性を評価する想定です。

## (2)マイルストン(予定)

予定について、御意見等あれば【様式1】の「6 その他提案事項」(例:「予定されている事業者決定時期では間に合わないので〇月にして欲しい」等)にて情報提供をお願いいたします。

マイルストン	スケジュール(予定)
企画競争の公告	令和6年4月頃
事業者決定・契約	令和6年5~7月頃
システム稼働	令和8年2月末

## (3) ガバメントクラウドの活用

国の利用及び接続環境・契約方法等の整備が十分にされていることを前提に、システム稼働からガバメントクラウド上で稼働することを前提にします。また、システム開発・保守だけではなく、ガバメントクラウド運用管理補助者についても一括で本システムの開発・保守事業者に委託することが望ましいと考えていますが、御意見(例:「ガバメントクラウド運用管理補助者は別途調達にして欲しい」等)があれば【様式1】の「6 その他提案事項」にて情報提供をお願いいたします。

## (4)連携及びデータ移行

住基情報等との情報連携及び現行システムからのデータ移行について、懸念事項があれば 【様式1】の「4連携及びデータ移行」にて情報提供をお願いいたします。

### 7 補足・留意事項

- (1) 御提供いただいた資料については、本目的以外では使用しません。
- (2) 情報提供に際して発生する費用は、貴社の負担となります。
- (3) 本情報提供依頼は、システム等標準化に係る事業者動向を得ることを目的としており、契約の意図や意味を持ちません。
- (4) 御提供いただいた情報・資料について、本市内でコピー・配布させていただきます。
- (5) 国への報告や他市との情報交換のために御提供いただいた情報・資料を利用させていただくことがあります。
- (6) 御提出いただいた情報・資料については、返却はいたしません。
- (7) 御提供いただいた情報・資料に関して、後日問い合わせ等を行う場合があります。

# 8 問合せ先

以下担当者宛に電子メールにて連絡して下さい。

〒564-0027

大阪府吹田市朝日町3番402号(吹田さんくす3番館4階)

吹田市学校教育部 学務課

<担当者> 森岡

<電話> 06-6155-8195

<メールアドレス> gakumu@city.suita.osaka.jp